葬祭業務実務経験年数証明書

氏名	生年月日		西暦	年	月	日						
現住所												
葬祭実務期間 (記入日現在)	西暦	年	月	日から	西暦	年	月	日まで	経験年数	年	か月	(ひと月未満は1か月に換算)
職務内容	<p>現在またはこれまでに従事したことのある全ての業務にチェックをしてください。</p> <p>【施行業務】</p> <p>☐葬儀事前相談 ☐葬祭企画 ☐葬儀見積り、受注 ☐遺体搬送 ☐遺体処置・湯灌・納棺</p> <p>☐葬儀会場設営 ☐葬儀式典運営 ☐葬儀アフターケア ☐葬儀施行業務管理</p> <p>☐葬具管理</p> <p>【企画】</p> <p>☐葬儀に関する市場・地域動向等の調査・分析</p> <p>☐葬儀に関する新サービスの企画・立案</p> <p>【営業】</p> <p>☐葬儀に関する営業管理 ☐葬儀に関する営業活動 ☐葬儀に関するアフター営業</p> <p>【生花】</p> <p>☐仕入れ ☐保管 ☐企画・デザイン ☐製作 ☐設営・撤収</p> <p>☐その他葬儀に関する業務 (具体的に)</p>											
事業所等の事業内容												
葬祭業務実務(見込)期間算入の申請(該当する場合のみ記入)										見込みで申込		
1級で5年未満(2級取得者は取得後2年経過し、4年未満)、2級で2年未満の実務経験であつて、見込期間(2025年12月31日)を合算して受験資格の必要年数を満たす場合に○で囲む												
上記のとおりに従事したことを証明します。												
西暦 年 月 日												
所在地												
事業所名												
代表者名												
電話番号												
☐ 当社は葬祭事業者であることを誓約いたします。(該当する場合にはチェック願います)												法人 代表印

※事業所等代表者の皆様へ(注意事項)

※次ページに注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。

※事業所等代表者の皆様へ（注意事項）

1. この「葬祭業務実務経験年数証明書」は、厚生労働省認定の葬祭ディレクター技能審査試験の受験資格を判定するために必要な証明書です。必ず代表者等の証明権限を有する方が記入してください。
2. 葬祭業務に従事した実務経験の期間及び年数を証明日で正確に記入してください。
なお、2025年12月31日までの間に経験年数を満たす見込みの場合は、葬祭業務実務（見込）期間算入の申請欄の見込で申込みを○で囲んでください。
3. 葬祭実務とは、○葬儀事前相談○葬祭企画○葬儀会場設営○葬儀式典運営などといったお客様に接する「基本業務」のいずれか1つに加え、○葬儀見積り、受注○遺体搬送○遺体処置・湯灌、納棺○アフターケア○施行業務管理○葬具管理などの施行業務、○葬儀に関する市場・地域動向等の調査・分析○葬儀に関する新サービスの企画・立案などの企画・営業、○仕入れ○保管○企画・デザイン○製作○設営・撤収などの生花職種に従事していることをいいます。
また、実務経験年数とは、恒常的に上記の業務に従事した、またはしている期間をいいます。
※休業期間は葬祭実務経験年数に参入することはできません。
※在学中のアルバイトなどの期間は葬祭実務経験年数に算入することはできません。（勤労学生の場合を除く。）
なお、当協会が認定した葬祭教育機関の所定のカリキュラムを修了した者は実務経験に参入することができます。
4. 必ず証明印は法人代表者（法人社印）の印鑑を押印してください。
5. 証明事業所等が複数ある際は、本用紙をコピーしてお使いください。
6. 本用紙において、他の事業所等の在職期間の証明をすることはできませんので、ご注意ください。

（注）実務経験の職務内容・期間及び年数が事実と相違することが判明した場合は、葬祭ディレクター技能審査実施規程の定めに基づき受験停止またはその試験の合格を取り消すこととなりますので、正確にご記入くださいますようお願いいたします。

+

+